



2019年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月3日

上場取引所 東

上場会社名 (株) マルカ
 コード番号 7594 URL http://www.maruka.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 敏章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 飯田 邦彦 TEL 06-6450-6823
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年4月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第1四半期の連結業績（2018年12月1日～2019年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第1四半期	15,108	1.3	569	△1.8	606	△4.3	1,217	222.4
2018年11月期第1四半期	14,915	28.6	580	48.6	633	37.4	377	33.3

(注) 包括利益 2019年11月期第1四半期 1,257百万円 (170.4%) 2018年11月期第1四半期 465百万円 (△17.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第1四半期	144.25	—
2018年11月期第1四半期	44.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年11月期第1四半期	50,355	22,191	42.8	2,548.11
2018年11月期	49,012	21,073	41.7	2,428.89

(参考) 自己資本 2019年11月期第1四半期 21,534百万円 2018年11月期 20,436百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年11月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2019年11月期	—	—	—	—	—
2019年11月期（予想）	—	22.00	—	25.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年11月期の連結業績予想（2018年12月1日～2019年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	32,000	5.3	1,200	8.7	1,300	8.6	1,600	121.7	190.16
通期	67,000	3.9	2,700	3.4	2,900	1.7	2,700	40.4	320.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年11月期 1 Q	9,327,700株	2018年11月期	9,327,700株
② 期末自己株式数	2019年11月期 1 Q	876,656株	2018年11月期	913,731株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年11月期 1 Q	8,443,640株	2018年11月期 1 Q	8,539,329株

(注) 期末自己株式には「役員向け株式給付信託」及び「従業員向け株式給付信託」が保有する当社株式（2019年11月期第1四半期 189,550株、2018年11月期 226,650株）が含まれております。また、「役員向け株式給付信託」及び「従業員向け株式給付信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の持続的な改善を背景に個人消費は堅調に推移し、また底堅い国内需要により企業収益は好調を維持し、結果として設備投資も底堅く推移するなど緩やかな回復基調が続きました。

また海外の経済情勢におきましては、米中通商問題や中国の緩やかな景気減速、英国のEU離脱問題等の不確定要素により景気下振れリスクは続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、「グローバルイノベーションⅢ 第2の創業 更なる躍動」を今年度のテーマに、中期経営計画の3年目として各種施策に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高15,108百万円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は569百万円（同1.8%減）、経常利益は606百万円（同4.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産売却益の計上により1,217百万円（同222.4%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

[産業機械部門]

産業機械部門では、国内は自動車関連業界向けに工作機械を中心に販売が伸びました。

米州はアメリカの受注状況は好調を維持していますが、前第4四半期連結会計期間において発生した受注のキャンセル等により売上が落ち込みました。

中国及びアジア地域は、中国、タイは主力ユーザーである自動車関連業界向けの販売が伸びるなど、総じて堅調に推移いたしました。

この結果、当部門の経営成績は売上高12,747百万円（前年同期比0.8%増）となり、営業利益は698百万円（同5.7%減）となりました。

[建設機械部門]

建設機械部門では、公共投資や民間投資は底堅く推移し、復興事業に一服感が見られるものの設備投資は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、土木・建築業界向けに掘削機やサイレントパイラーといった基礎機械の販売が伸びました。

この結果、当部門の経営成績は売上高2,348百万円（前年同期比4.3%増）となり、営業利益は113百万円（同9.7%増）となりました。

[その他]

当セグメントは、保険部門の経営成績を示しております。

当部門の経営成績は売上高12百万円（前年同期比10.7%増）となり、営業利益は6百万円（同185.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産50,355百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,342百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加（前期末比1,290百万円増）によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は28,163百万円となり、前連結会計年度末と比較して224百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務の増加（同621百万円増）によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末に純資産は22,191百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,117百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加（前期末比1,001百万円増）、自己株式の取得（同77百万円増）、為替換算調整勘定の増加（同58百万円増）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月期通期の連結業績予想につきましては、2019年1月15日の「平成30年11月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,205,711	11,496,493
受取手形及び売掛金	19,748,403	18,695,004
電子記録債権	2,901,590	3,931,602
有価証券	100,000	600,000
商品及び製品	2,952,985	3,295,282
仕掛品	353,942	449,291
原材料及び貯蔵品	30,159	28,913
その他	4,009,290	3,904,075
貸倒引当金	△56,569	△58,529
流動資産合計	40,245,513	42,342,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,787,158	2,765,305
減価償却累計額	△650,770	△541,082
建物及び構築物 (純額)	2,136,387	2,224,223
機械装置及び運搬具	514,398	531,935
減価償却累計額	△399,324	△408,657
機械装置及び運搬具 (純額)	115,073	123,278
工具、器具及び備品	449,136	457,142
減価償却累計額	△265,464	△275,941
工具、器具及び備品 (純額)	183,671	181,200
貸与資産	2,689,178	2,700,672
減価償却累計額	△1,672,410	△1,663,565
貸与資産 (純額)	1,016,768	1,037,107
リース資産	71,061	71,061
減価償却累計額	△56,809	△58,012
リース資産 (純額)	14,252	13,049
土地	2,778,621	2,093,577
建設仮勘定	152,593	1,073
有形固定資産合計	6,397,369	5,673,510
無形固定資産		
のれん	293,603	282,168
その他	44,895	49,533
無形固定資産合計	338,498	331,702
投資その他の資産		
投資有価証券	1,208,413	1,146,174
繰延税金資産	188,361	222,949
その他	677,758	683,431
貸倒引当金	△43,079	△44,768
投資その他の資産合計	2,031,453	2,007,786
固定資産合計	8,767,321	8,012,999
資産合計	49,012,834	50,355,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,669,981	10,862,380
電子記録債務	10,684,756	11,305,830
短期借入金	433,742	920,663
1年内返済予定の長期借入金	2,940	7,350
未払法人税等	615,550	703,945
賞与引当金	—	115,375
従業員株式給付引当金	—	9,709
その他	3,944,751	3,676,858
流動負債合計	27,351,723	27,602,113
固定負債		
長期借入金	297,060	299,857
繰延税金負債	8,838	7,420
退職給付に係る負債	21,018	21,739
役員退職慰労引当金	39,167	42,113
役員株式給付引当金	44,692	44,692
再評価に係る繰延税金負債	32,668	32,668
その他	143,699	112,769
固定負債合計	587,144	561,262
負債合計	27,938,867	28,163,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,414,415	1,414,415
資本剰余金	1,398,498	1,398,498
利益剰余金	18,686,880	19,688,855
自己株式	△1,416,713	△1,339,711
株主資本合計	20,083,081	21,162,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276,233	230,957
繰延ヘッジ損益	△3,334	484
土地再評価差額金	39,596	39,596
為替換算調整勘定	72,040	130,652
退職給付に係る調整累計額	△30,989	△29,586
その他の包括利益累計額合計	353,546	372,105
非支配株主持分	637,338	657,594
純資産合計	21,073,967	22,191,758
負債純資産合計	49,012,834	50,355,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)
売上高	14,915,677	15,108,905
売上原価	12,893,684	13,030,942
売上総利益	2,021,992	2,077,963
割賦販売未実現利益戻入額	6,956	7,584
割賦販売未実現利益繰入額	3,305	7,588
差引売上総利益	2,025,643	2,077,959
販売費及び一般管理費	1,445,547	1,508,428
営業利益	580,096	569,530
営業外収益		
受取利息	13,538	18,553
受取配当金	6,155	7,344
固定資産売却益	3,119	23,102
為替差益	5,831	—
不動産賃貸料	27,393	13,429
雑収入	12,184	9,962
営業外収益合計	68,224	72,392
営業外費用		
支払利息	3,795	9,692
不動産賃貸費用	10,857	7,942
為替差損	—	16,201
雑損失	191	1,904
営業外費用合計	14,843	35,741
経常利益	633,476	606,181
特別利益		
固定資産売却益	321	1,251,654
特別利益合計	321	1,251,654
特別損失		
固定資産除却損	12	0
特別損失合計	12	0
税金等調整前四半期純利益	633,786	1,857,836
法人税、住民税及び事業税	264,055	627,115
法人税等合計	264,055	627,115
四半期純利益	369,731	1,230,720
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,001	12,730
親会社株主に帰属する四半期純利益	377,733	1,217,990

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	369,731	1,230,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,459	△45,336
繰延ヘッジ損益	7,344	3,818
為替換算調整勘定	86,487	67,063
退職給付に係る調整額	4,035	1,403
その他の包括利益合計	95,408	26,948
四半期包括利益	465,139	1,257,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,412	1,236,549
非支配株主に係る四半期包括利益	9,726	21,119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,652,020	2,251,993	14,904,014	11,662	14,915,677	—	14,915,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,652,020	2,251,993	14,904,014	11,662	14,915,677	—	14,915,677
セグメント利益	740,931	103,366	844,298	2,154	846,452	△266,356	580,096

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△266,356千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,747,277	2,348,712	15,095,990	12,915	15,108,905	—	15,108,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,747,277	2,348,712	15,095,990	12,915	15,108,905	—	15,108,905
セグメント利益	698,488	113,379	811,868	6,155	818,023	△248,492	569,530

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△248,492千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。